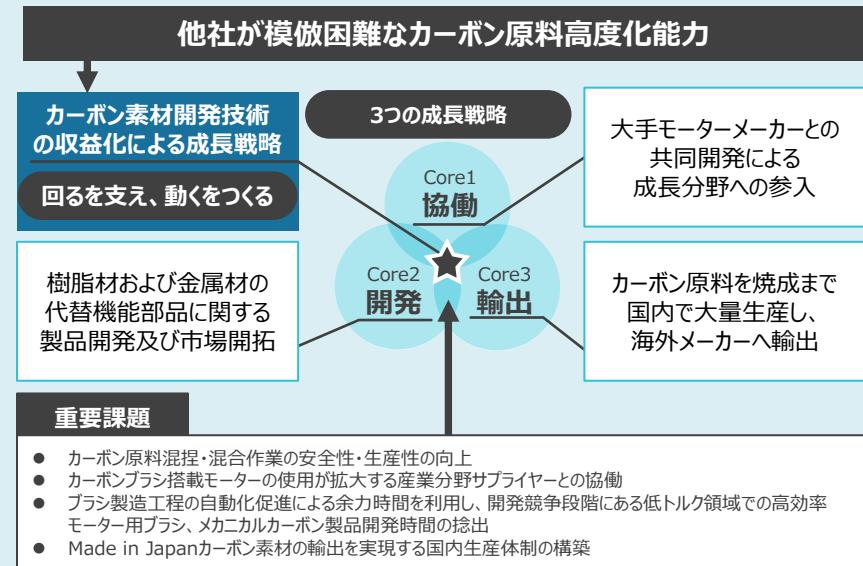


## 1. 長期成長ビジョン

カーボン素材の優位性を活かし、材料置き換え需要を踏まえた市場開拓、APACを中心とした海外輸出向けの大量生産を行うことで、2030年に連結売上高154億円(当社単体85億円)を目指す

## 長期成長ビジョン(目指す姿・ビジネスモデル)



## 当社全体の売上成長目標(~2030年)

(単位: 億円)	2024年度	2030年度 売上目標	売上高成長率	売上高増加額
当社(単体)	22.32	85.75	384.1%	63.42
海外子会社	27.10	68.72	253.6%	41.62
売上高(連結)	49.42	154.47	312.5%	105.04

## 当社全体の賃上げ目標※含む役員給与

- 5.26% : 2024年度～2027年度(基準年度)
- 6.05% : 2027年度～2030年度(事業化報告3年目)

## 外発的動機

## ブラシレスモーターの増加による更なる市場拡大

- カーボンブラシを使用しないブラシレスモーターにより家電・電動工具市場における当社製品ニーズは減退。一方で車載用利便系モーターはICE,PHEV,BEVの種別に関わらず今後大量にモーターを使用することからコスト重視の意向が強く、当社製品への期待は高まっている。また、駆動系開発モーターのワンストップ受注ニーズも見られる。

## 長寿命性を望む海外メーカーとノウハウ秘匿の危機

- 世界各国のモーターメーカーは「長寿命性」に今後の活路を見出している。当社のカーボン原料は長寿命性を実現可能であるが、海外での混捏・混合を行ったり、カーボン原料のままで輸出したりすると、当社のノウハウが流出するリスクがある。

## 「カーボン優位性」を求めた素材切り替えニーズ

- カーボンは耐摩耗性や耐熱性、軽量性を発揮できるため、これまで金属やプラスチック等の材料で構成されてきた部品から置き換わる需要が高まっている。

## 内発的動機

## 100年企業に向けての業界牽引

- 当社は1935年に創業した老舗カーボン原料・カーボンブラシメーカーである。当該製品のメーカーは国内に10社程度しかないニッチ業界である。既存顧客産業のみに依存すれば市場が減退するが、カーボンの優位性を発揮できる分野は多くあり、当社は他社に先駆けて需要を開拓するという自負がある。

## 大手企業との対等な関係性構築によるパートナーシップ深化の可能性

- 特に、当該製品を素材開発から一貫して担えるのは国内でも5社程度の特殊領域である。そのため、新規製品立ち上げの際には、大手企業から技術的な助言を求められる機会が多い。

## 長寿命性に関する対外的な評価の高さ

- 顧客企業の要求を満たすために、産学官連携・先進企業とのアライアンスを進める中で、長寿命性のノウハウを開発してきた。この能力は他社では模倣ができず、競争優位を築いている。

新工場では、原料配合工程における作業環境の改善と高効率な生産ラインの構築を通じて、年平均21.6%の労働生産性向上および従業員1人あたり6.2%の賃上げを実現する

### 補助事業の背景・目的

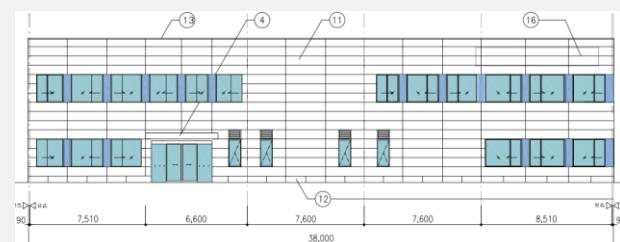
- ① 属人的作業の自動化と高効率設備導入による省人化、及び労働環境改善
- ② カーボン原料製造工程のレイアウト見直し等を通じた生産能力向上

**事業費  
(補助額)**

52億円  
(15億円)

### 設備投資の内容

- 【立地場所】愛知県豊田市福受町中ノ切130 他32筆
- 【敷地面積】32,578.06 m<sup>2</sup> 【建築面積】8,202.55 m<sup>2</sup>
- 【3年間の雇用者増加目標】80名（うち新規雇用80名）
- 【主な設備】自動加工機・AI検査設備、自動搬送装置 等



### 原料配合工程を改善させた福受新工場建設

### 目標値

項目	2027年度 (基準年度)	2030年度 (基準年度+3年後)
労働生産性 (単位：万円/人)	606	1,090 (年平均上昇率+21.6%)
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	500	598 (年平均上昇率+6.2%)
役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	-	- (年平均上昇率+4.5%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	176	256